



【教育目標】 **総合目標** 知性を磨き、心を見つめ、チャレンジする生徒

イラハッピー

- ◎自主性、創造性のある生徒(知育)
- ◎情操豊かな生徒 (徳育)
- ◎健康でたくましい生徒 (体育)

【生徒会役員と懇談】～「アイプロジェクト」と「楽しい行事」を推進！～

5月22日(月)の休憩時間に校長室において生徒会役員7名と校長の懇談会を開催しました。本校では今年度のテーマ「夢を見つける学校、夢を語り合う学校、夢を叶える学校」や「教育目標」の実現に向けて9つの重点目標を掲げており、その1つに「主体性や自治意識を高める生徒会活動等の充実」があります。中学生には、自分たちの力で楽しく居心地の良い学校を創っていく力があり、その中心となる生徒会の活動を支援していきたいと考えています。



懇談会では、校長から「アイプロジェクト de イラハッピー」に関連した具体的な取組を考えてほしいとお願いしました。生徒会役員からは、①マスコットキャラクター「イラハッピー」を誕生させるプロジェクト、②学年間の親睦を深める行事の実施、③伊良波フェスタの工夫などの話がありました。また、生徒総会の学級討議の中で出てきた質問事項についての回答も求められました。特に「なぜ今年から朝の会と帰りの会を5分から10分に延長したの?」という質問があったので、「コロナ禍で損なわれがちだった会話や語り合うことを復活させ、生徒や先生がお互いを認め合い、理解し合う場をつくり、楽しく居心地の良い学級づくりを推進したいから」と回答しました。

今年度の生徒会役員は、とても仲が良く、前向きに色々な活動を考えてくれます。生徒と先生方が一緒になって、協力しながら楽しくハッピーで居心地の良い学校をつくっていかれたらと思います。生徒会役員のみならず全校生徒皆さんの協力をよろしくお願いします。

【陸上部・女子サッカー一部】～県大会で上位入賞・自己ベストの活躍～

◎陸上部〔第45回沖縄県中学校陸上競技選手権大会〕

5月20日(土)に沖縄市のタピック県総スタジアムにおいて第45回沖縄県中学校陸上競技選手権大会が開催されました。本校からは、陸上部の生徒たちがトラック及びフィールド競技に出場し、日頃の練習の成果を発揮してくれました。結果は、女子3名が8位入賞を果たしました。また、その他の生徒も、惜しくも入賞は逃したものの全員自己ベストの記録を出すことができました。



- 【入賞者】女子2・3年 800m 1位：佐取明奈(2分25秒14) 8位：仲村莉依(2分37秒19)
 女子2・3年 1500m 1位：佐取明奈(5分09秒51) 7位：仲村莉依(5分43秒67)
 女子共通ジャバリックロー 5位：賀数愛音(26m02)

◎女子サッカー一部〔OFA第15回沖縄県中学校女子(夏季)サッカー大会〕

5月20日(土)・21日(日)に金武フットボールセンターにおいて、「OFA第15回沖縄県中学校女子(夏季)サッカー大会」が開催されました。女子サッカーはチーム数が少なく地区夏季大会を兼ねた大会でした。本校女子サッカー一部は、初戦で真志喜中に3-0で快勝し、準決勝で豊見城中0-7で負け、惜しくも3位という結果でした。準決勝で敗れましたが、最後まで声を掛け合って戦い抜いてくれました。



【生徒総会】～R5生徒会テーマ「みんなで創る生徒会」～

5月24日（水）の5校時に生徒総会が開催されました。今年度も昨年度と同様に、生徒会執行部と各種委員会委員長が第2理科室から議事を進行し、各学級をオンラインでつなぐ形で実施しました。はじめに生徒会長の藤原理瑚さんからあいさつで、「生徒会とは伊良波中学校の生徒全員でつくる組織で、自分たちで考え、より良い伊良波中学校を創っていくために生徒全員で協力していこう！」と呼びかけがありました。議事は、第1号議案「生徒会・各種委員会年間活動計画」、第2号議案「令和4年度決算報告」、第3号議案「令和5年度予算」、第4号議案「今年度生徒会テーマ」の順に審議し、今年度のテーマ「みんなで創る生徒会」を確認しました。オンライン形式で短時間の総会でしたが、各学級からの質疑も活発で、各種委員会委員長も的確に答えるなど有意義な総会となりました。是非、伊良波中生徒の力を結集して「楽しくハッピーで居心地の良い伊良波中学校」を創ってほしいと思います。期待しています。



【2年総合 JICA 研修生と交流】～国際理解と沖縄への理解を深める～

5月26日（金）の5・6校時、2学年総合の時間に「JICA研修生として沖縄で学びを深めている外国人との交流を通して国際理解や地元沖縄についての理解を深める」という内容で国際交流の授業がありました。本校は生徒数が多いため、前半クラス（5校時）と後半クラス（6校時）に分かれての交流となりました。今回本校を訪れたのは、カンボジア・スリランカ・タイ・ベトナム・パラオの5カ国から来県した5名の研修生の皆さんです。



プログラムは、①研修員による各国の紹介（「こんにちは」「ありがとう」「さようなら」などのあいさつとクイズ→沖縄の「ハイサイ」「ハイタイ」のように男女であいさつの違う国もありました。）②「なぜ、YOUは沖縄に？」（ミバエ（農作物の害虫）の駆除や植物検疫など農業分野の知識や技術を学びに来県したそうです。）③生徒による沖縄の伝統文化の紹介（5校時は舞踊（安里屋ユンタ）と空手の形の演武、6校時はエイサーの演舞を披露しました。）④研修員によるパフォーマンスなどでした。短い時間の交流でしたが、JICA研修生の皆さんは、伊中生の多才なパフォーマンスを見てとても感心し、沖縄の文化にも興味を持ったようです。タイの研修生は、「沖縄の踊りとタイの踊りは手の動かし方が似ている」などの感想を語っていました。



昨年度と同様、今年度も多種多様な方々との交流の機会を通して、国内外の様々なことに関心を持ち、視野を広げ、平和やSDGsなどについても考えを深めてほしいと思います。

